

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0426
施設名	松中保育園
施設所在地	〒1900033立川市一番町5-8-28
法人名	社会福祉法人 昭島愛育会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

絵本の世界の探求(1歳児)

<テーマの設定理由>

新園舎へ移り、2階の光の広場に絵本コーナーを作った。様々な年齢の子どもたちが絵本に触れる中で、子どもたちのつぶやきから絵本の世界を再現したらどのような感じかを感じこのテーマを設定した。

2. 活動スケジュール

絵本を読む→子どもの反応を見る→つぶやきに沿った活動を取り入れ子どもたちの様子を見てさらなる展開を考える。
年間を通じて、絵本を通して子どもたちのつぶやきを取り入れ、活動にむすびつけていった。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- 1、絵本コーナーの充実(絵本の管理ができるソフトの導入や絵本・図鑑の購入)
- 2、積み木の充実(カプラや白木の積み木の導入)
- 3、職員の積み木研修への参加
- 4、表現活動に活かせる粗大運動用遊具の導入
- 5、園外保育の充実を図った

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

年間計画に沿って活動

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

環境によっては取り合いになることが多かったが職員が順番を知らせると次第に譲り合うようになった。子どもの様子から自然物を入れるケースを個人用で作った。テラスが水で色が変わっていく様子に驚いたり、葉にもいろいろな色があることに気づき、知らせてきた。4月に新入園児が11名加わり、20名で過ごす中で子どもたちの探求心をくすぐるために季節の本や、「はらぺこあおむし」の絵本を活動の中心に起き過ぎた。室内ではあおむしに変身できる帽子やスカート、ちょうちょの羽をつけてなりきり遊びを楽しむ。絵本の世界から「虫探しごっこ」「まつぼっくりの不思議体験」「秋の味覚に触れる」など子どもの興味は自然物に向いていった。

職員も子どもの知りたい気持ちに寄り添い園外保育を多く持ち子どもの興味の様子に合わせて活動を設定していった。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

子どもたちが季節の自然物に興味を持ち、特に秋の「まつぼっくり」「さつまいも」「さんま」は、実物を触ったり、サツマイモやサンマは実際に食事で提供され、「味わう」まで経験することで、家庭でも話題にするほど興味深い深いものとなったことがわかった。日常生活の中で子どもたちの気づきを大切にしながら楽しむ方法として絵本がとても有効だと思った。絵本をきっかけに遊びをひろげていくことは職員も楽しむことができた。周りのものからも様々な保育に活かせるヒントがありそうだということがわかった。